

一般質問について

質問者および質問項目

自民党県議団

- 縣 善彦…県内GDP20兆円への挑戦について
- 野原 隆士…海洋環境に影響を及ぼすプラスチックごみ等の対策について
- 川端 耕一…新型コロナ5類移行等医療・介護現場の様々な課題について
- 井上 博行…事業承継について
- 片岡 誠二…建設分野におけるドローンの活用について
- 井上 正文…離島における移住・定住の促進と商店街の活性化について
- 吉田健一朗…医療的ケア児支援の取組について
- 笠 和彦…出会い・結婚の応援におけるAIの活用について
- 樋口 明…外国人の適正な労働環境の整備について

民主県政県議団

- 佐々木 允…重度障がい者の在宅生活支援について
- 山本 耕一…気候変動への適応について
- 後藤 香織…投票率向上のための取組について
保育サービスの充実について
- 渡辺 美穂…透析患者への合理的配慮について
- 中嶋 玲子…保育所の現状と保育士不足について

緑友会

- 安部 弘彦…地球温暖化対策と自動車の電動化について
- 田中 大士…「福岡県グローバル青年の翼」事業について
- 江口 善明…本県の交通政策について
新規就農者の確保について
- 栗原 悠次…本県における不登校児童生徒のサポートについて

公明党

- 松下 正治…在宅就労支援について
- 浜崎 達也…福岡県における水資源対策とダムの洪水調節機能の強化について
- 壹岐 和郎…奨学金返還支援について
デフリンピック支援と共生社会の推進について
- 高橋 雅成…児童虐待とマルトリートメントの防止策について

日本共産党

- 高瀬菜穂子…新型コロナウイルス感染症対策について
下関北九州道路について
- 立川 由美…困難女性支援法について
有明海再生について

真政会

- 古川 忠…知事の政治姿勢について
・1,000億円の人づくり

拓志会

- 岳 康宏…本県における「人手不足」の現状について
「院内学級」について

予算特別委員会について

2月定例会において予算特別委員会が設置されました

○自民党県議団

秋田 章二(委員長)、縣 善彦、江藤 秀之、大島 道人
津田 公治、中牟田伸二、板橋 聡、松尾 嘉三
西元 健、渡辺 勝将、江頭 祥一、吉田 浩一
高橋 義彦、花田 尚彦

○民主県政県議団

富田 徳二(副委員長)、原竹 岩海、川崎 俊丸、原中 誠志
大橋 克己、佐々木 允、中嶋 玲子、富永 芳行

○緑友会

吉武 邦彦、神崎 聡、堀 大助、永川 俊彦

○公明党

森下 博司、二宮 眞盛、浜崎 達也、高橋 雅成

○日本共産党

高瀬菜穂子

代表質問を終えて

自民党県議団

冒頭、昨今の国際情勢を踏まえた上で、今後福岡県としての県民の安全・安心を確保していくのかについて服部誠太郎知事に問い、国・市町村・防災関係機関との連携のさらなる強化を行うこと、県の災害対策本部の代替施設の整備、緊急時における国・地方の権限の見直しの要望を「国と地方の協議の場」で取り上げられるよう全国知事会を通じて働きかけていくとの答弁を得ました。

また、服部カラーを示すものである十六カ月予算についても質問したところ、三本柱である「一千万円の人づくり」「県内GDP二十兆円への挑戦」「安全・安心で活力ある社会づくり」にかけた思いについて、それぞれ「未来を担う人材を育てるための人への投資」「成長・発展の歩みを前進させるための県の経済を牽引する産業の育成」「ワンヘルスの推進をはじめとした県民の命と健康・生活を守るための活動」をしていく旨の答弁がありました。

さらに、手話言語条例の制定目的と制定に伴う施策については、ろう児にとって手話は健全な成長に不可欠であり、手話獲得のために乳幼児を対象とした親子手話教室から特別支援学校幼稚部につながる切れ目のない支援体制を構築する等の答えがありました。

ワンヘルス推進については、県として初となる海外大学との覚書締結を実現させ、ハワイ大学とのワンヘルスに関する共同研究や人材育成のための円滑な交流を目指すとのことでした。

その他、コロナに関連して今後の子どもたちのマスク着用や2類相当から5類に見直される際の国への働きかけ等について、福岡県のスタートアップ創出元年、盛土規制、新県立美術館整備について等、知事より前向きな答弁をいただきました。

民主県政県議団

「一千万円の人づくり」を中心に、来年度予算の基盤が服部誠太郎知事から示されました。

財政調整基金等三基金、財政改革プラン、職員配置、県単独公共事業費の見直しに関しては前向きな発言を得られず、引き続き県を質してまいります。

また、知事からは、パートナーシップ宣誓制度のサービス拡大と市町村・他県との連携に取り組むこと、生活に困窮している方の声を踏まえた困難女性支援基本計画を策定すること、留学生の県内での就職促進に向けて経済団体、業種別団体と就職先を開拓すること、そして5類に見直される新型コロナに対しては医療機関、高齢者施設での課題を取りまとめ国に要望したとの発言を得ました。

さらに、中小企業の賃金引き上げのために、物価上昇分の価格転嫁が可能となるよう取り組むことや生活困窮者への支援が届くアウトリーチの充実、市町村の重層的支援体制、包括的支援体制の整備を支援するとされました。

花粉症対策としては、少花粉スギへの植え替えの促進、少花粉ヒノキの普及に取り組むとの回答をされました。

教育長からは、教員確保のための新規採用確保、定年引き上げに伴う勤務の意思を確認することを示され、さらに県立高校の入学選抜では極力定員内不合格を出さないこと、障がい等に配慮した措置を講じるとされ、また、魅力ある高校づくりのために地域との連携を進めるとの回答を得ました。

警察本部から、ストーカー事件の事態急変に備え、被害者やその親族等の安全確保を最優先として、より強力で推進していくとの発言を得ました。

緑友会

「政治は弱者のためにある」これが、我が緑友会福岡県議団の政治信条です。また、目指すのは福岡県の均衡ある発展と命の産業である農林水産業を守ることです。そして、悠久の歴史の中で営まれてきた山・里・海、この環境を守り、真に豊かな地方をつくることです。

このことを冒頭、服部誠太郎知事に申し上げ、新年度予算編成の考え方を中心に知事の政治姿勢を質しました。

「人材の育成」については、一千万円を超える予算を計上し、人への投資を重視する旨の答弁がありました。また、「県内GDP二十兆円への挑戦」については、官民が力を合わせ県内GDP二十兆円を達成したいとの決意が示されました。「出産・子育て安心基金」については、県独自の出産・子育て施策を機動的に実施する財源とする旨の答弁がありました。

次に、これまでにない厳しい状況が続く今期の有明海ノリ養殖について取り上げました。生産者の声を関係部に伝えたと、当面の資金繰りの問題は、漁連や関係機関との連携で共済金の早期支払いや償還金の支払猶予など速やかな対応をしていただきました。

しかし、大きな課題は、今後の生産の安定であり、その対策を質しました。知事からは、不作の原因究明、二枚貝の増産計画および海況情報の新たな発信システムの導入が示されました。

その他、定年引き上げにかかる諸課題、救急車の適正利用と搬送困難事案への対応、観光振興対策などについて質しました。また、暴力団撲滅については、現状と今後の対策・決意を警察本部長に質しました。

公明党

奈良県大和郡山形市にある近鉄線の踏切で4月、白杖を持った全員の女性が特急にはねられて死亡した事故がありました。踏切内に視覚障がい者誘導用ブロックがなく、女性は遮断機の外側にいると思込んで立っていたと見られている痛ましい事故でした。視覚障がい者誘導用ブロックが設置されていれば事故は回避出来たのではないかと。その思いで服部誠太郎知事に、安全・安心の社会づくりの観点から、踏切内の安全対策について伺いました。

知事は、県内に道路と交差する踏切は1321カ所あるが、踏切内に視覚障がい者誘導用ブロックを設置している箇所はないこと、この誘導用ブロックの踏切内設置については、奈良県の事故を受けて、現在、国で全国統一の整備方針と構造基準が検討されていること、そのため、県としては、この整備方針や構造基準に基づき、整備が必要な踏切について速やかに対策を講じていく、と答弁しました。

また、道路管理者、鉄道事業者等で構成する「福岡県踏切道改良協議会」において、踏切内の段差解消や踏切障害物検知装置の設置といった踏切内安全対策について協議していきたいと考えているとも述べました。

農福連携促進のためのコーディネートについては、知事は、県では、就労支援等で農業に取り組み障がい者施設の施設長や職業指導員を「農福連携推進員」として県内4地域に各1名を配置し、今後も農福連携推進委員の活用により、農業の働き手と障がいのある方の働く機会の確保に向け、出来るだけ多くのマッチングを達成していくと述べました。